



Handwritten title slip text in cursive script, likely Japanese. The text is enclosed in a rectangular border. At the bottom of the slip is a small character, possibly '上' (top).

Library sticker with red and black text:  
^ 5  
4464  
1



門 へ 5  
號 4464  
卷 1

~ 5  
4464  
1-3

日 東 寺  
東 寺  
東 寺

人 偏 ありし、萬 里 之 東 の  
志 なく なるら ず 地 方 司 と  
然 之 業 と なる 子 孫 之

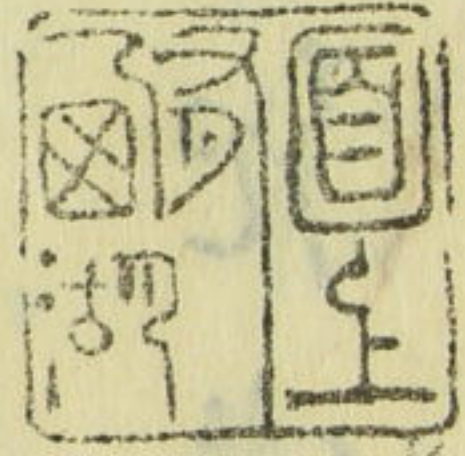
昭 和 九 年  
十 月 八 日  
購 求

其まゝに云ふに  
昔の病は神の  
時、病は神の  
神、病は神の  
神、病は神の  
神、病は神の  
神、病は神の  
神、病は神の

哀樂の心  
運氣を  
韋駄天  
まや記述  
露子  
高し

子孫と深く行辨高

と千叟述



Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

序文宛向

紅塵頓首

題更始

夕夕と朝乃夜とすく心電も

山夕

鎮但盤念

源解や比の双樹と流雨

和推

野花見

暮乃心ゆとの下戸長松と

活山

秋

多業 夕夕と朝乃夜とすく心電も

成屋

類聚草部

約歌と漕舟くたは神樂い

貞山

煉

村産り〜〜〜のり川と掘

水園

長

車川橋はかたつる早さうの

来川

春

常解や寺とわりの丸谷中野

乾什

梅咲や桜〜〜のり川と掘

百洲

長

幅巾のきも依むら〜〜いん

壺月

春

梅は下りき雪とて松林の如

常仙

友

照法あへ蓮の盛りに松林の如

尾谷

又

野神明市

休居ハ吹や毎ワ〜〜道草市

一漁

秋

三ノのちや重なるたれた散の音

起波

妻

富士峰のれはるどめれま業風

湖十

嫁

物丁や胡弓のまゝ鶴舟焚

逸志

又

野埃草市

わきかたを飾るる原市前

貞佐

白ふ意情を感心し續く

風姿を何しつ戻りて産声

よち其敷く八百八町乃

廣き小坐しして買有海

て高何を憐れ無忘花は草

すさし跡ふ程ある草

乃露月を何とせ乾か

玉の峰はさきとて思ふに  
七十老山より五千の序  
小縁のくち中付記

あかき一掃の  
たかき一掃の  
たかき一掃の  
たかき一掃の  
たかき一掃の

東洋風

江戸紫

翻鶴堂

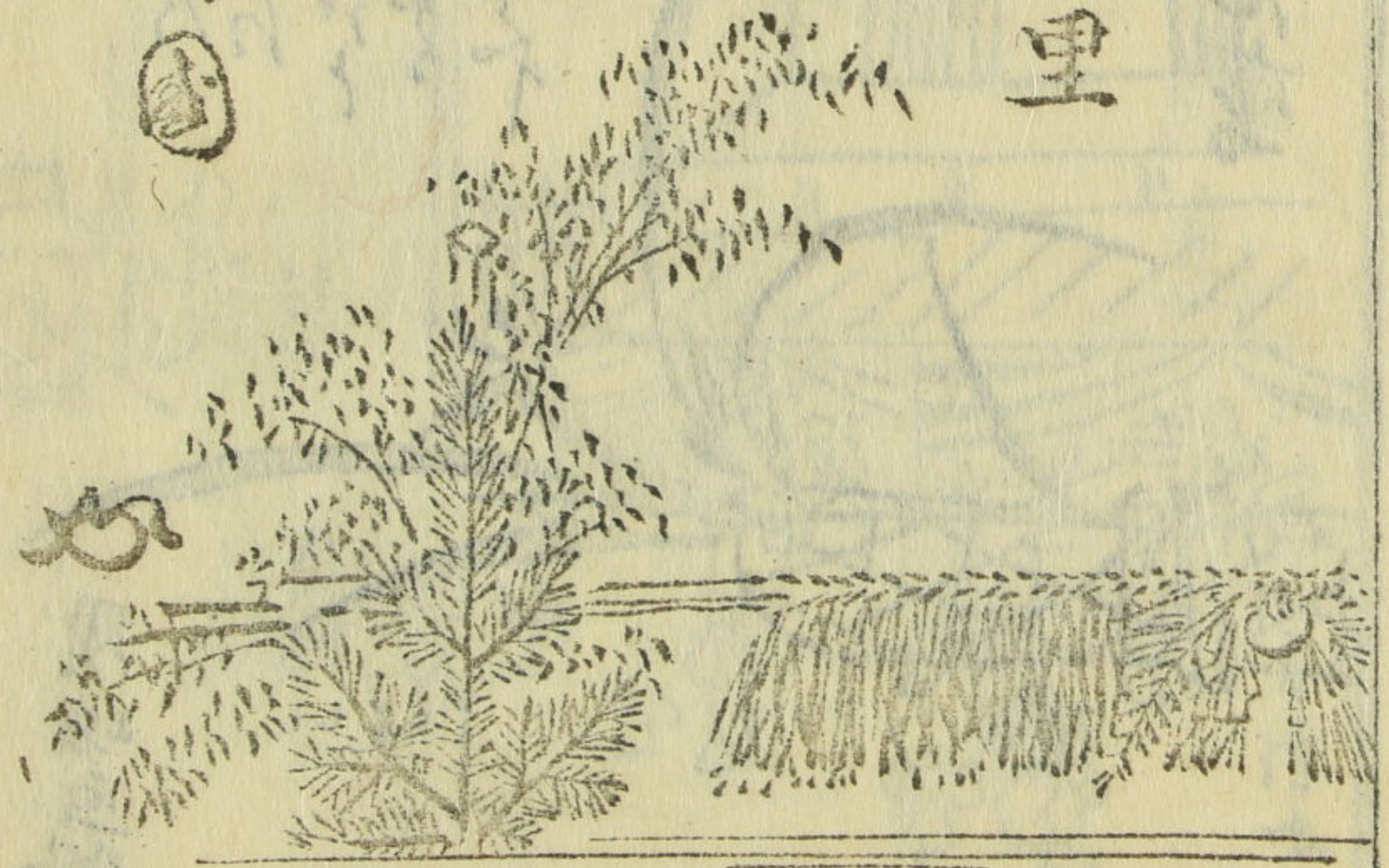
千里

元日

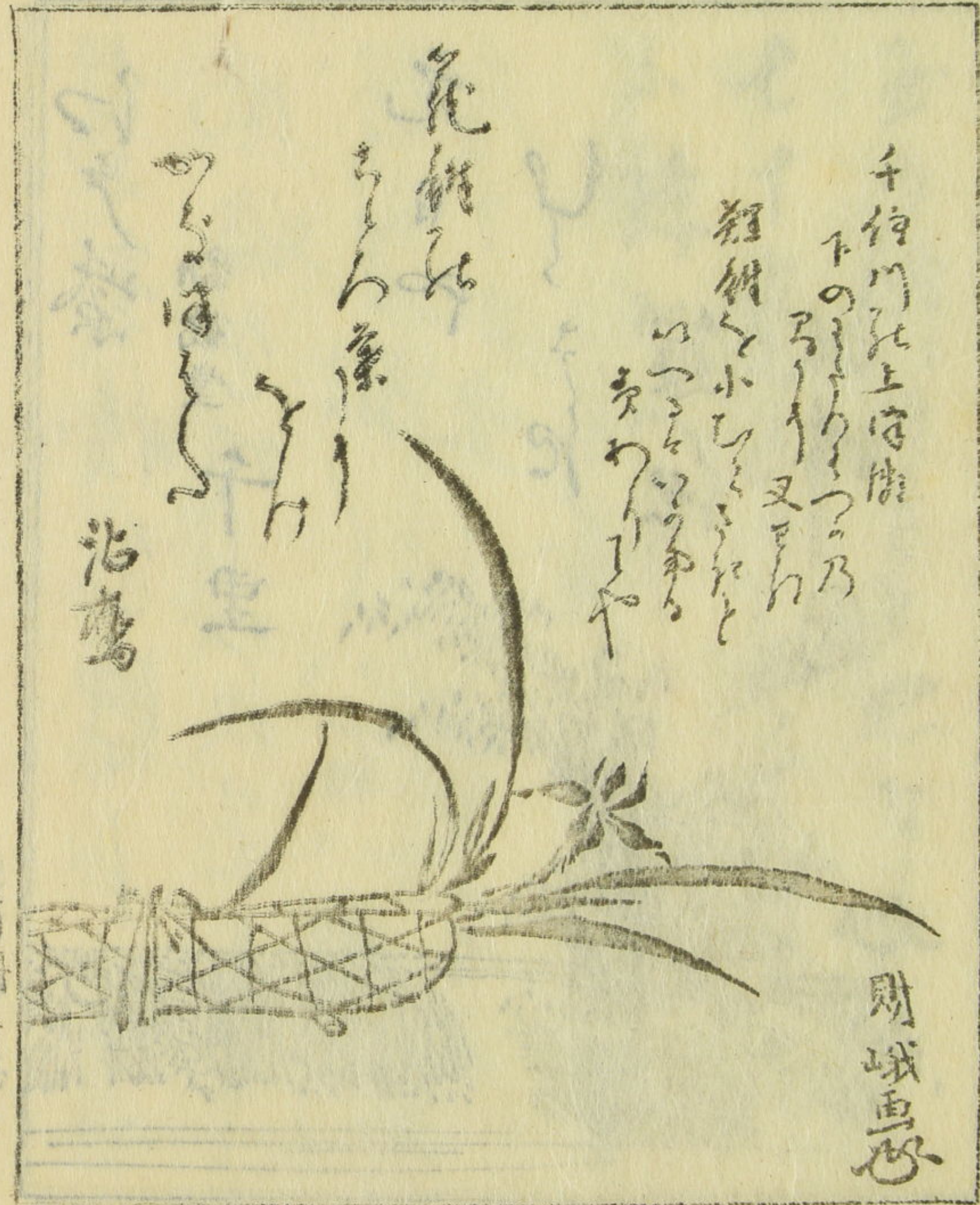
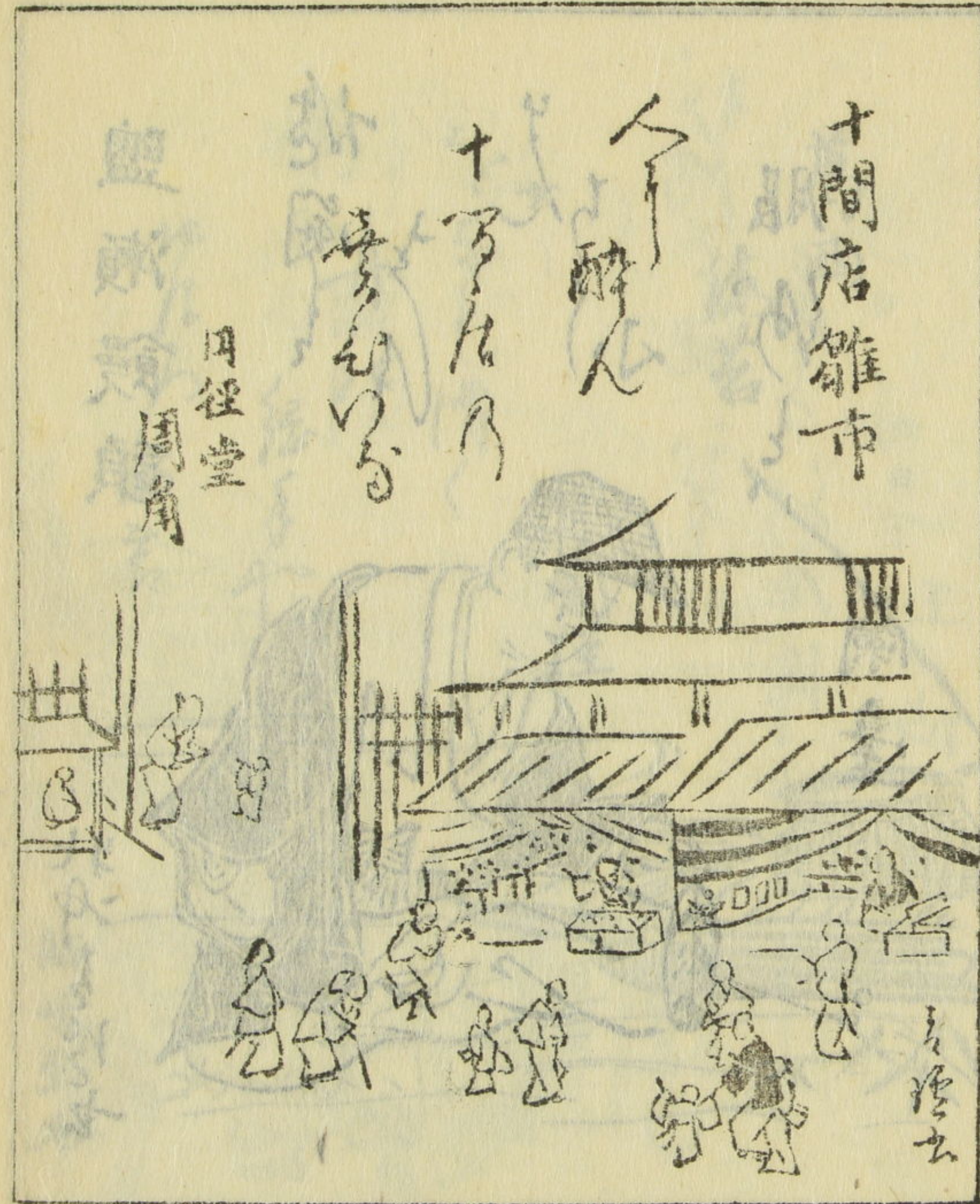
しん

送

結



東





鹽瀨饅頭

糖開

小

服紗

蘭臺



北沖

葛西

湯茗

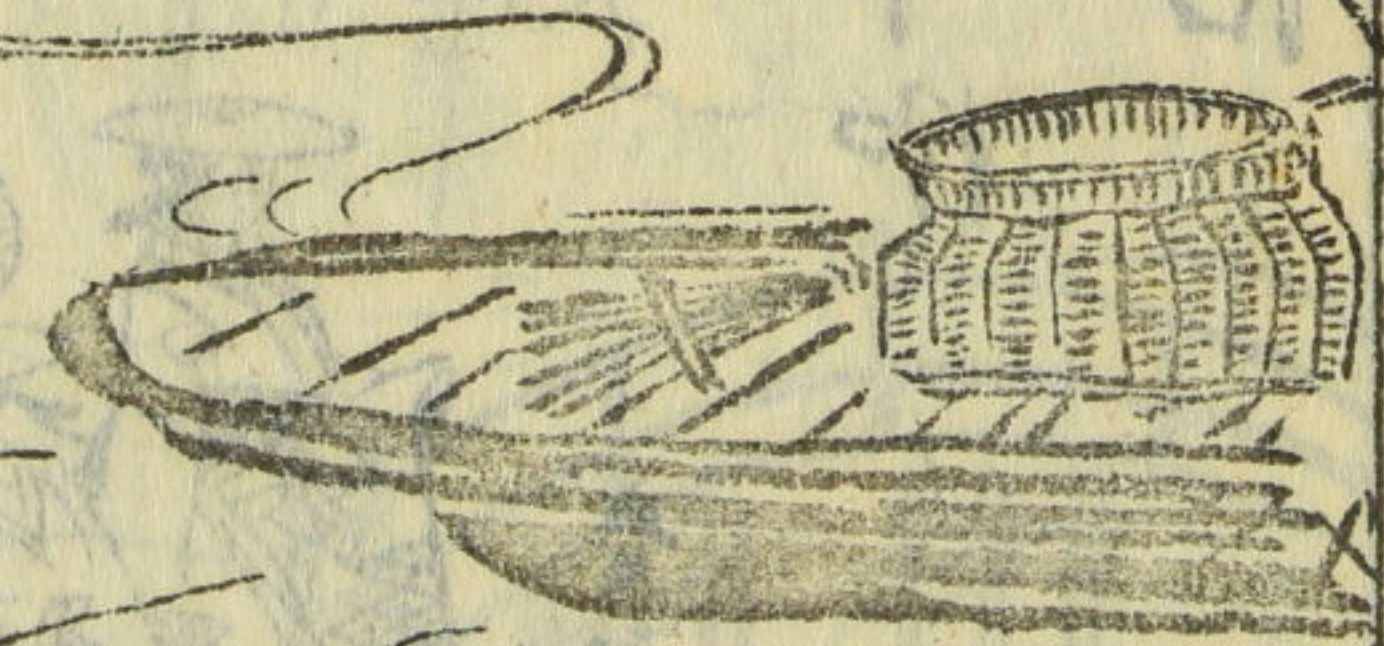
蘭徑

女

舟

經

舟



財城



亀戸藤

神子乃

奇河丸

荷水堂

泉柳

北冲古

北冲古

北冲古

北冲古

北冲古



藤田綱引

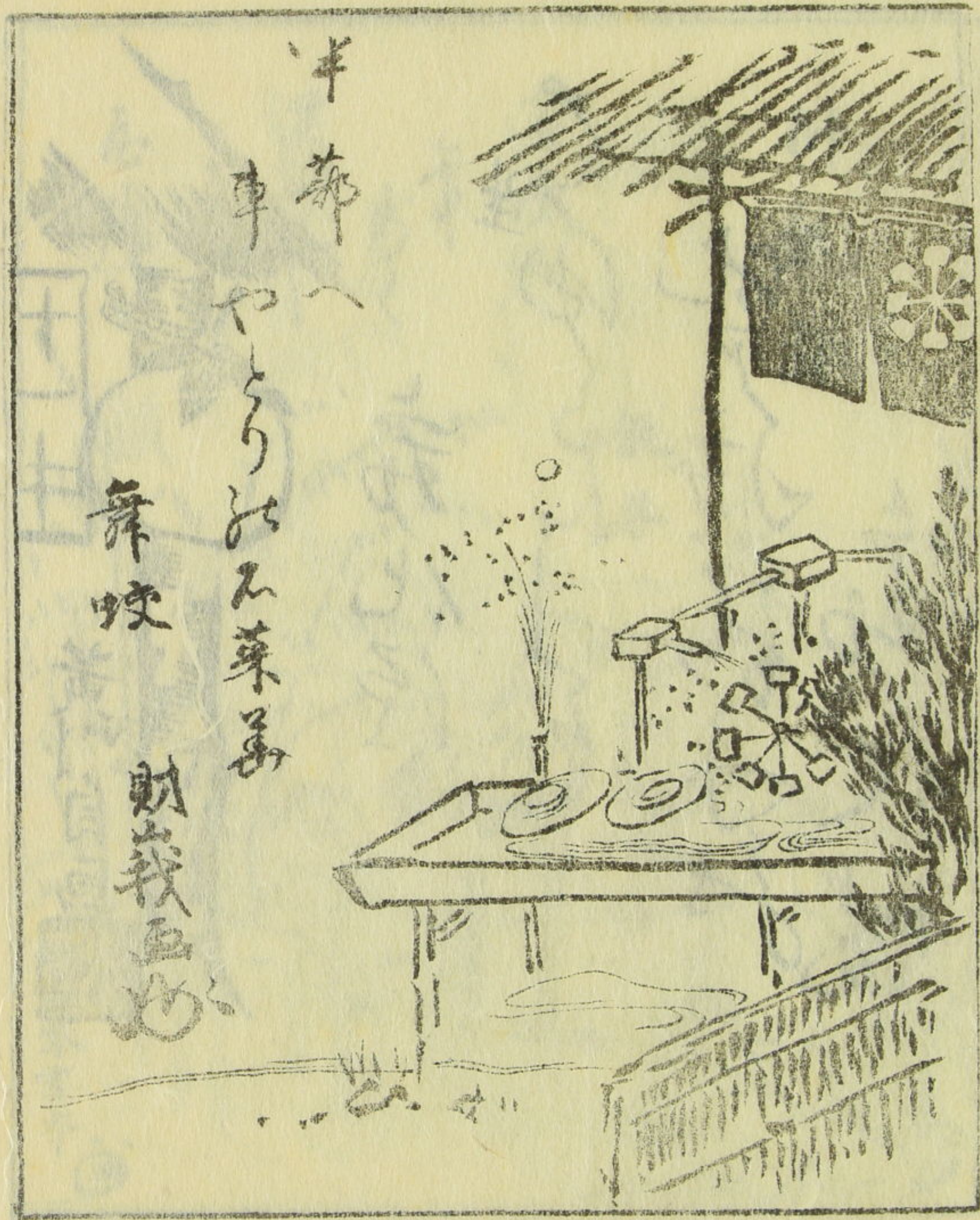
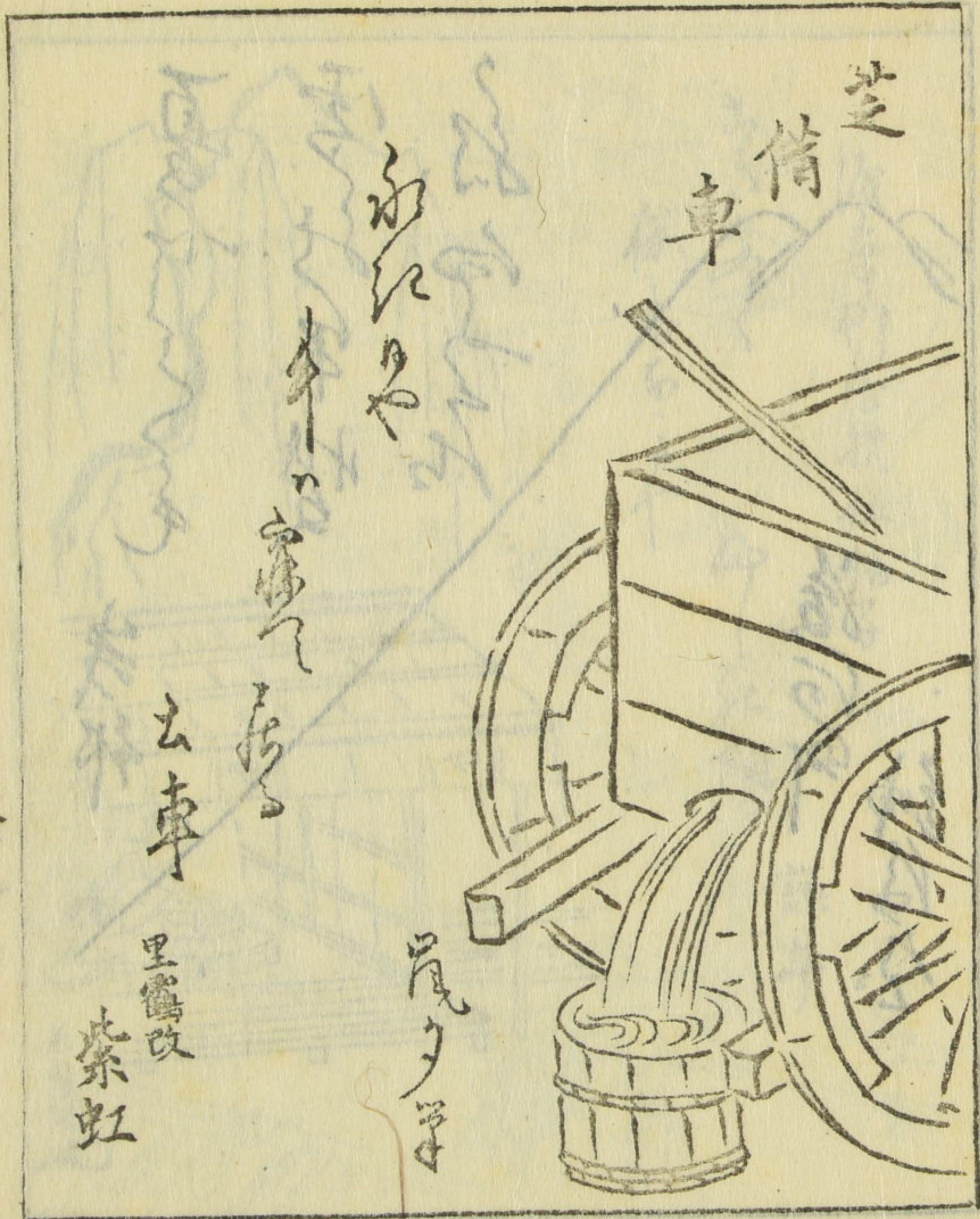
九月下

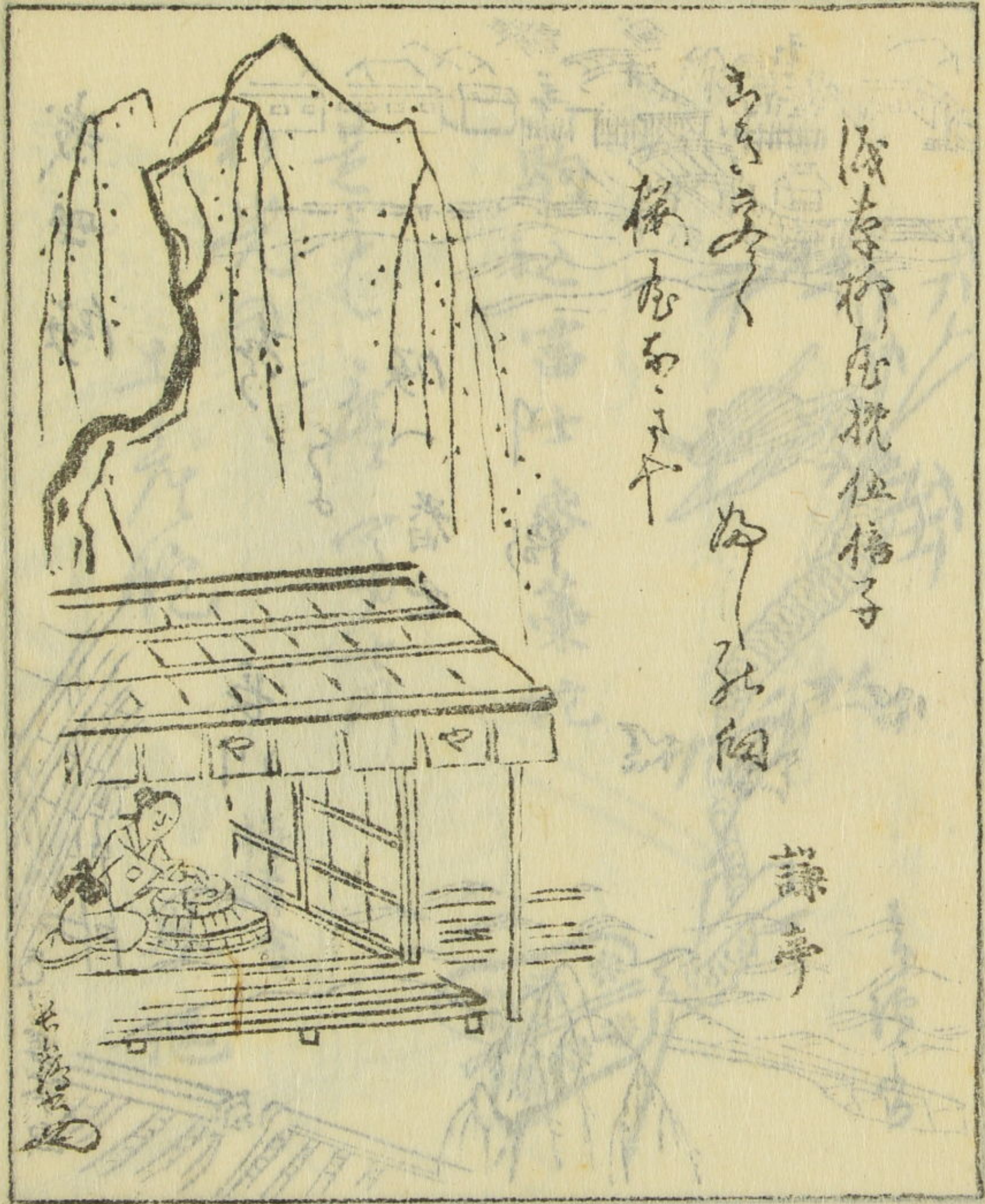
玉沾

玉沾

玉沾



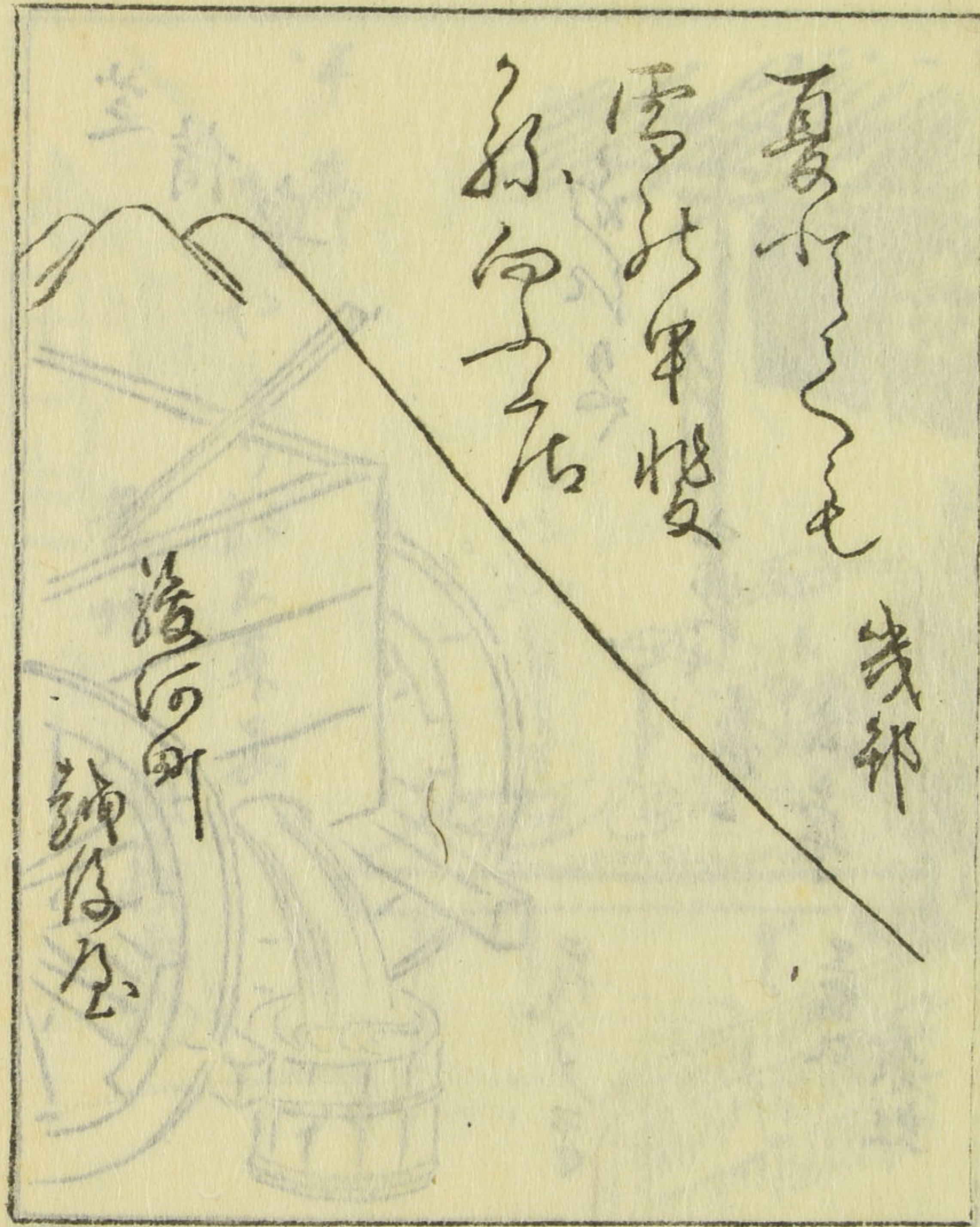




淡春柳花犹似信子

去冬未久  
梅香而平

謙亭



夏水

雪水甲燈

絲向石

朱那

後河所

鍾得全

我思修



河  
候一着也  
川衛

長川

雪寺

駒込富士麥藻蛇

是し座富士の

和光の

其座蛇



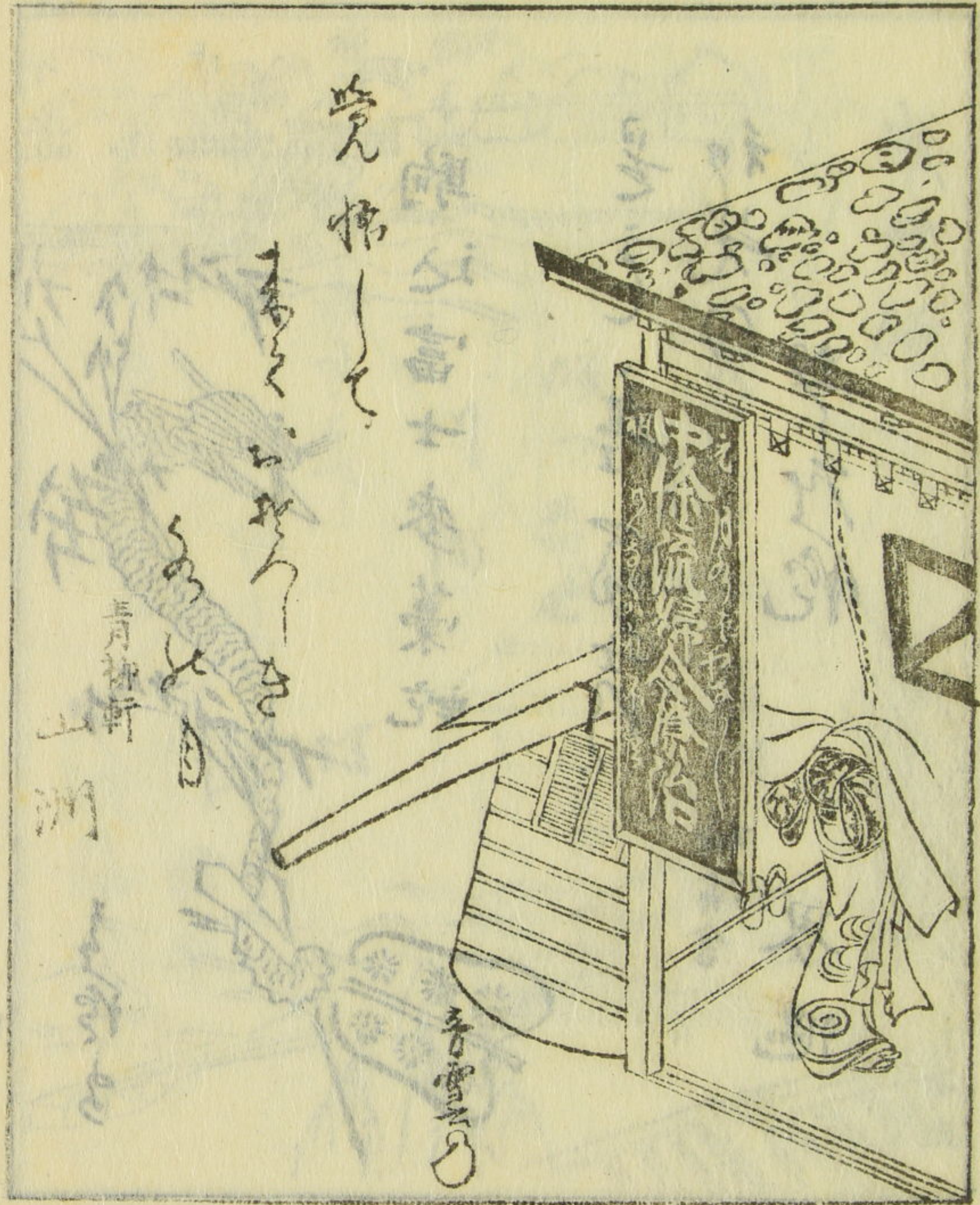
まげ

梅隣舎

界温

其座

其座





神田青物

いさぎよ

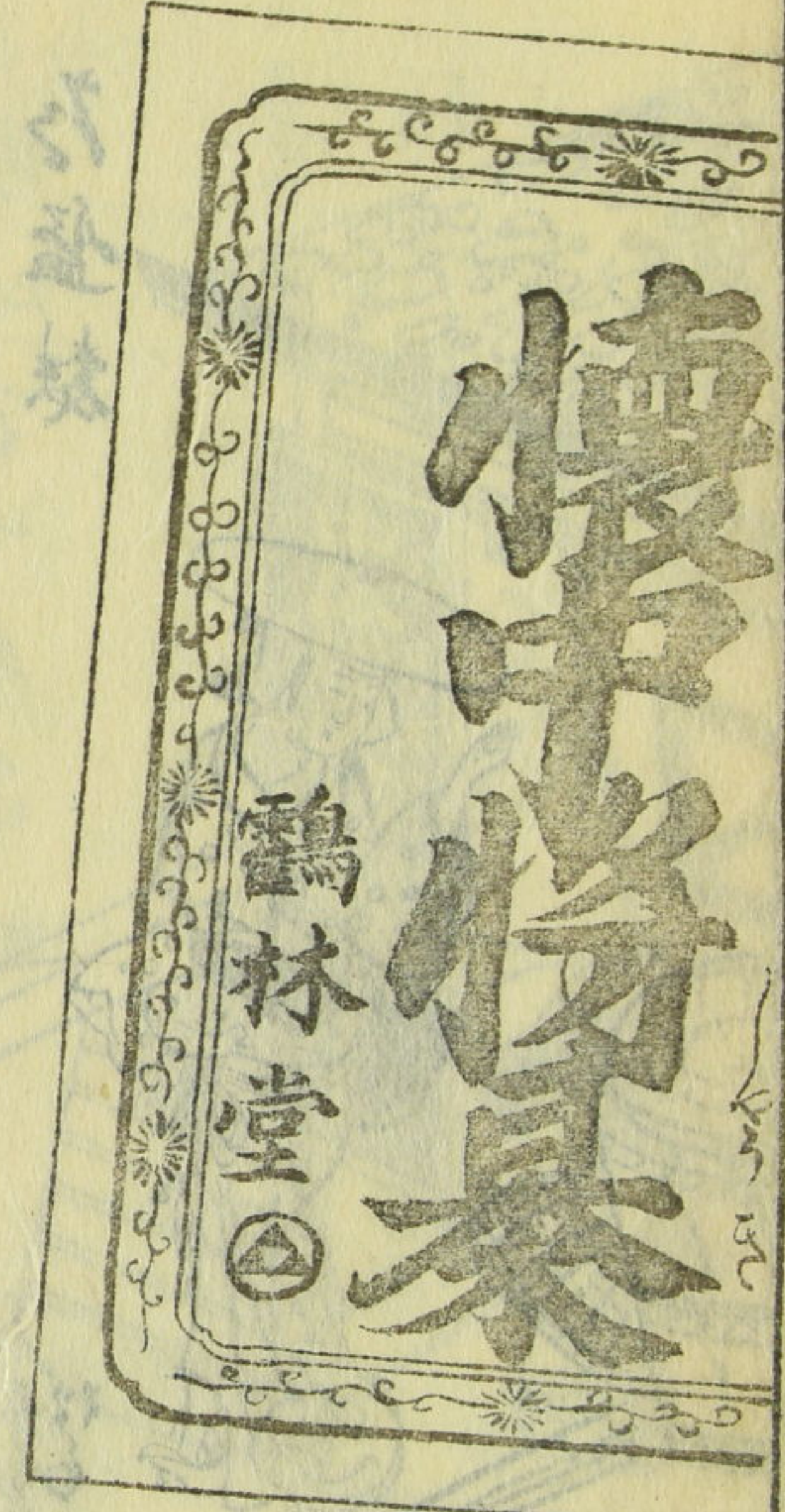
皂英

芋

見

蓬向奇  
壇戸

北沖



懷中寶

鶴林堂

仙

命

是

内

素水





大木竹中尉

糸白や

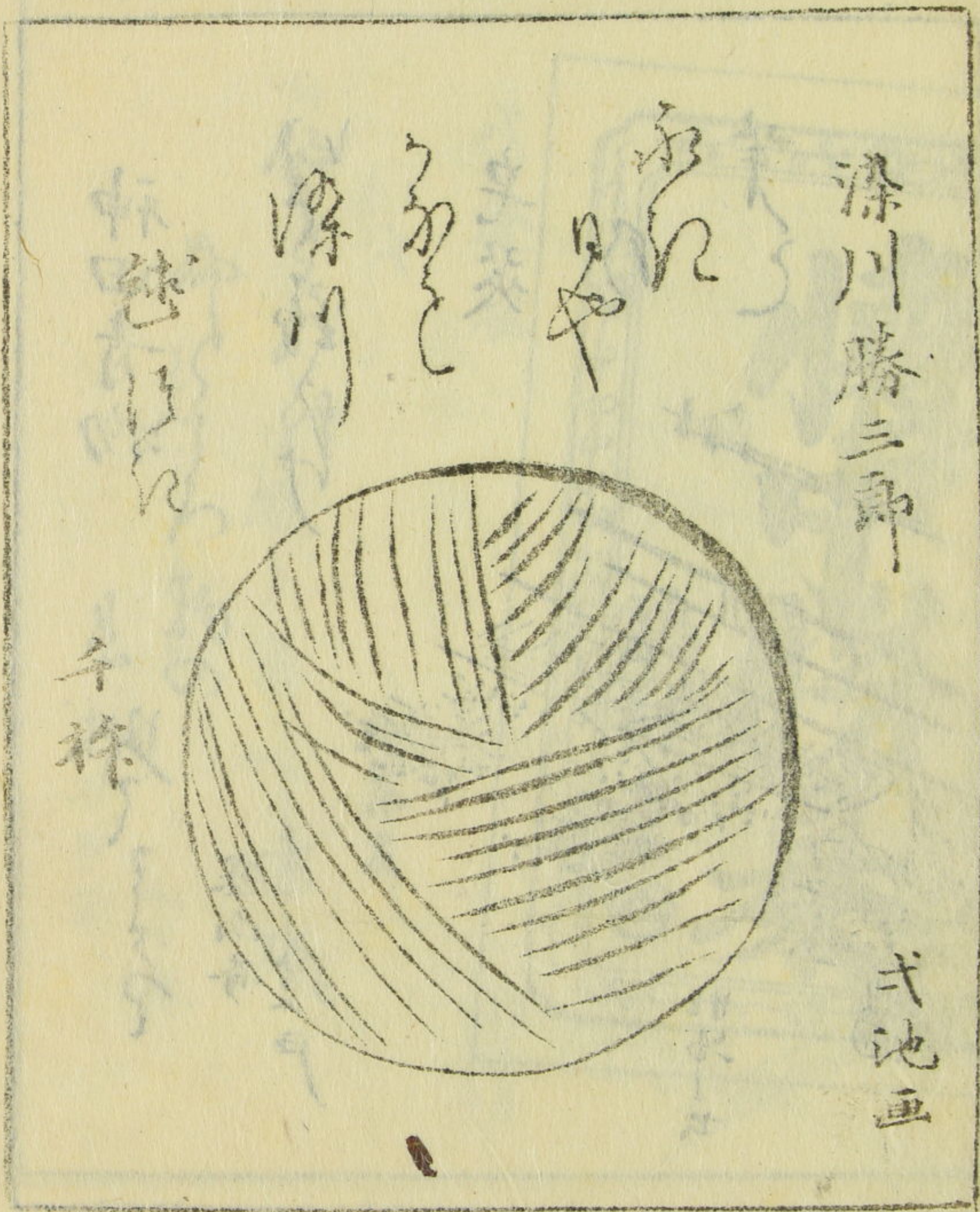
大木に

いけの

一清と

重山

白鳳雪峯  
福王



漆川勝三郎

糸白

糸白

糸白

漆川

糸白

千株

弋池画



御花初

雪本筆

午寂

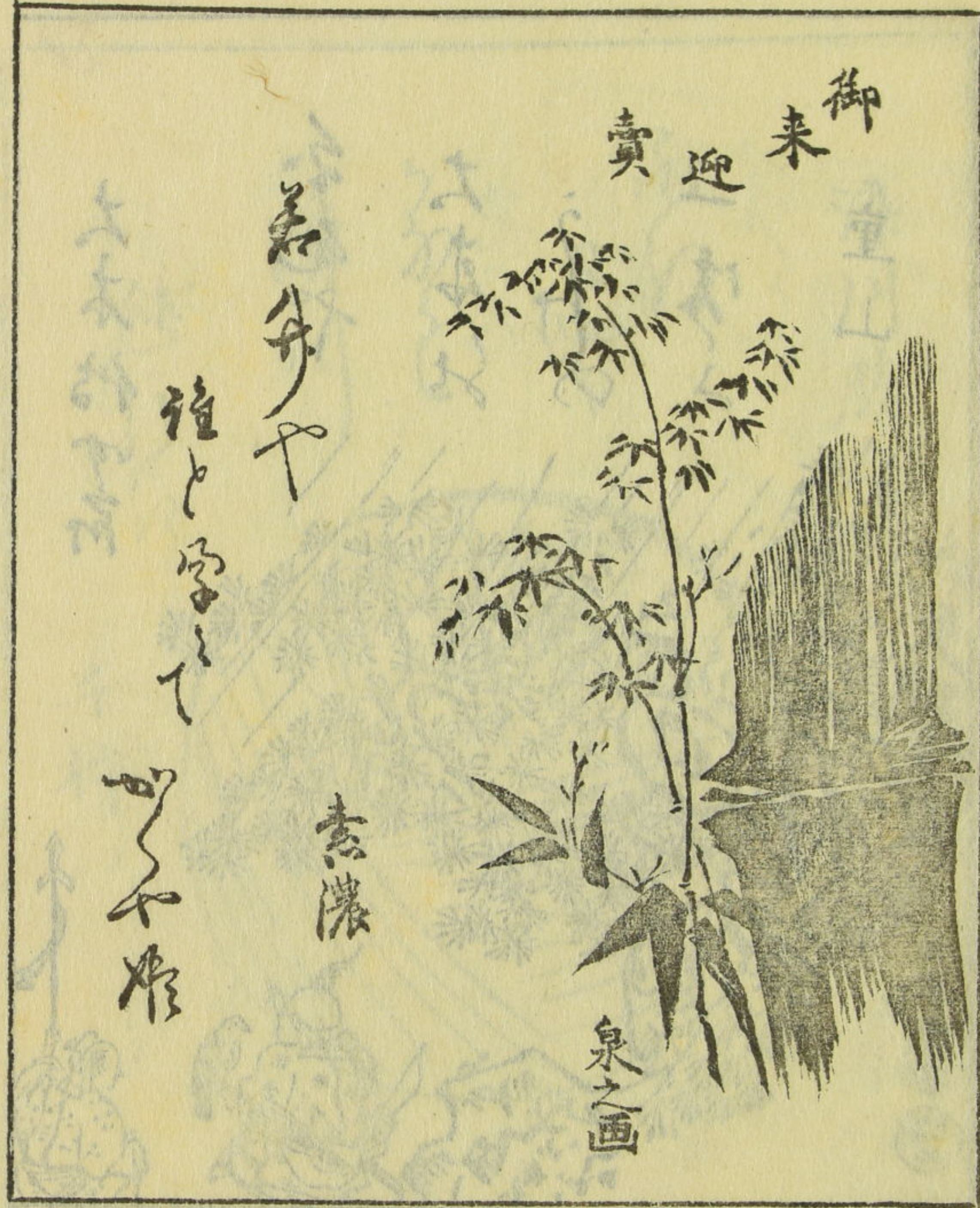
致と

蠅よ

御影あうま

屋る物

たのま



御来迎賣

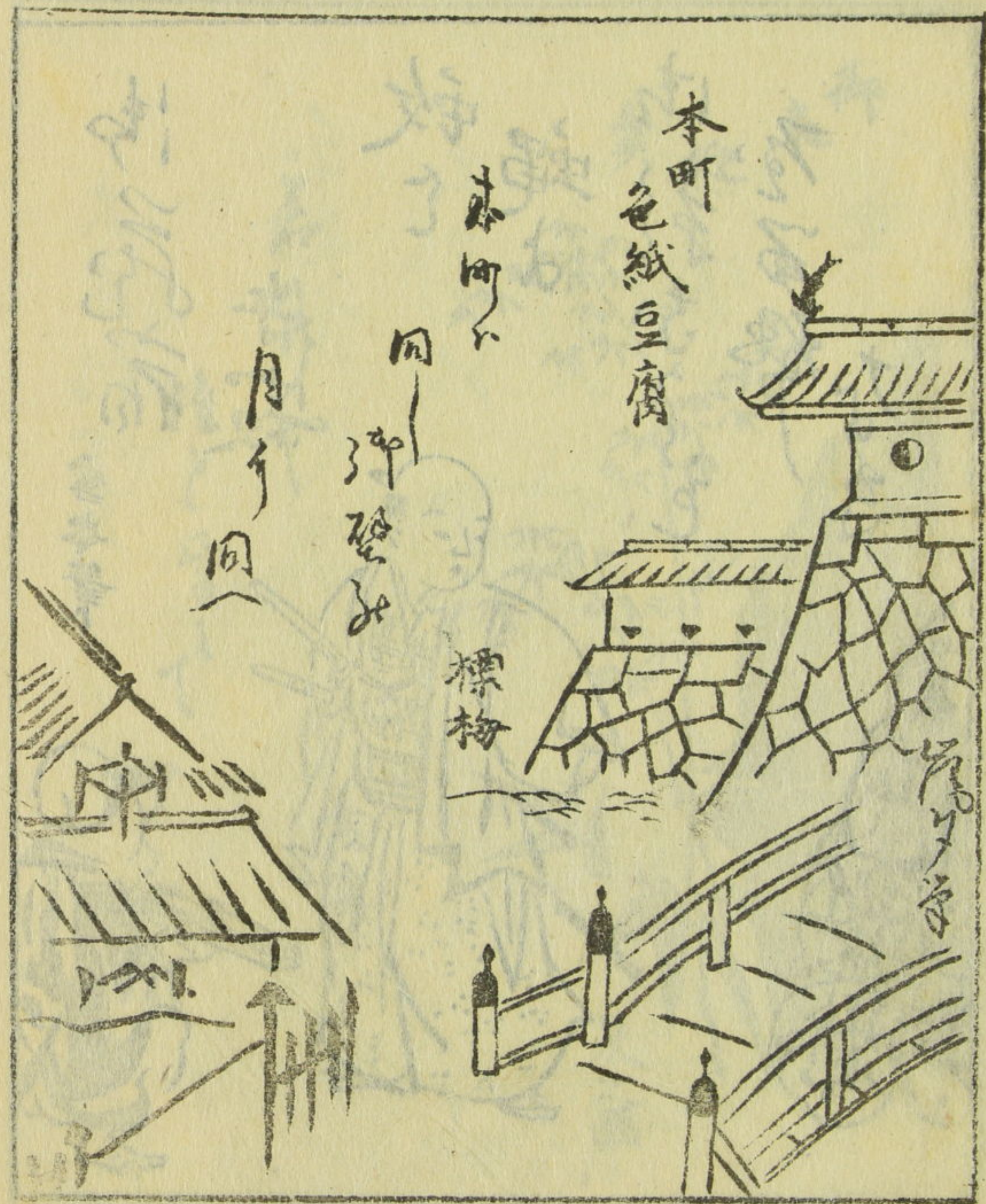
美舟や

種と字と

可く不

志濃

泉之画





針  
口  
乃  
喜  
子  
雲  
井  
の  
時  
名

兩  
替  
町  
金  
銀

茶  
荷



後  
春

く  
ん  
子

拳  
梅  
堂

初  
水

七  
色  
虎





隅田川現

梅巷居

治城自画



浮島

見形

顔

切

上三

三



日

太

小

松

三

松井

泉

練馬大根



高野山

あつちのきりぎりすのり大根

桃李

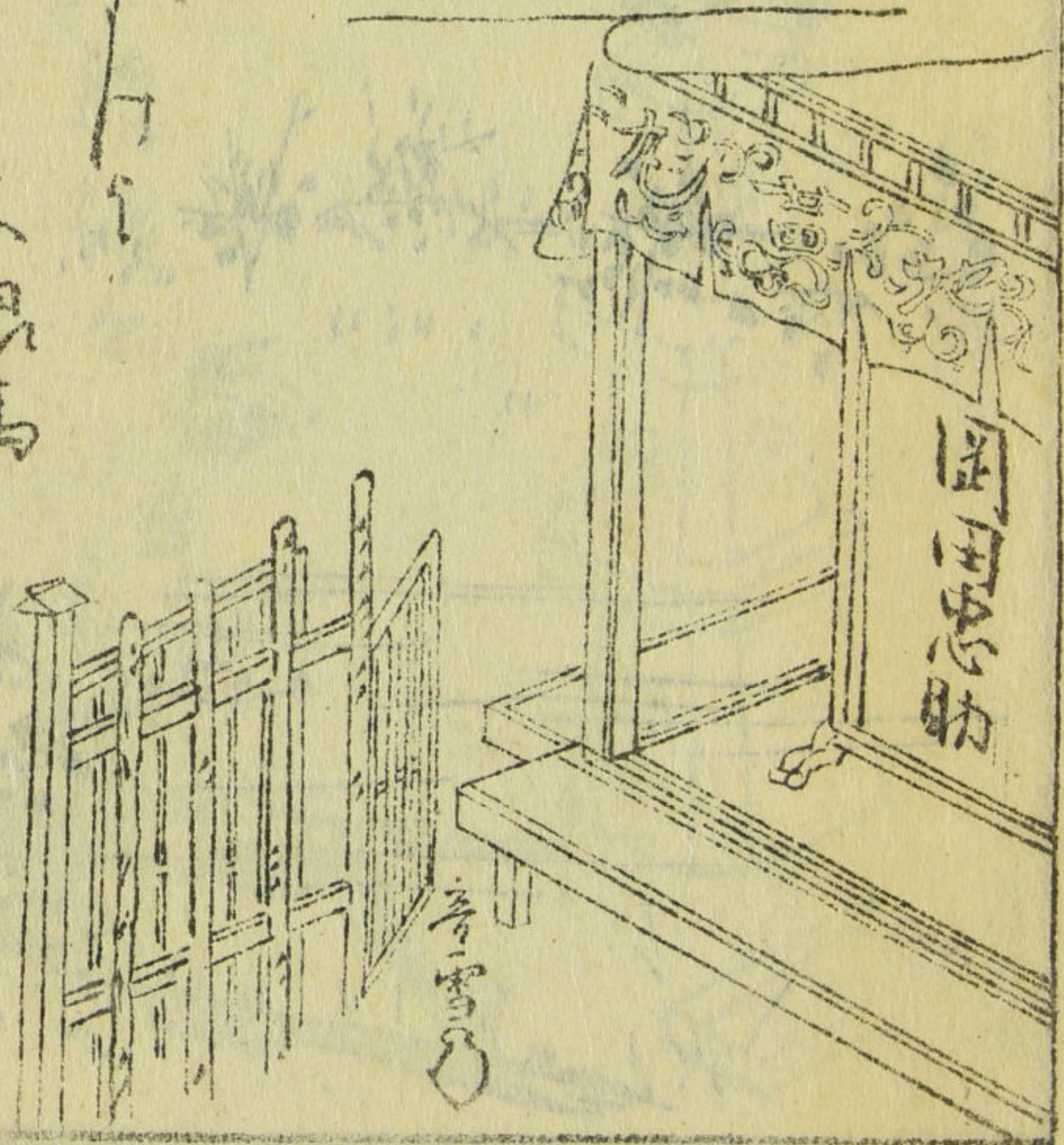
本町

角一丁

大根馬

音精堂

澗洲



音雪

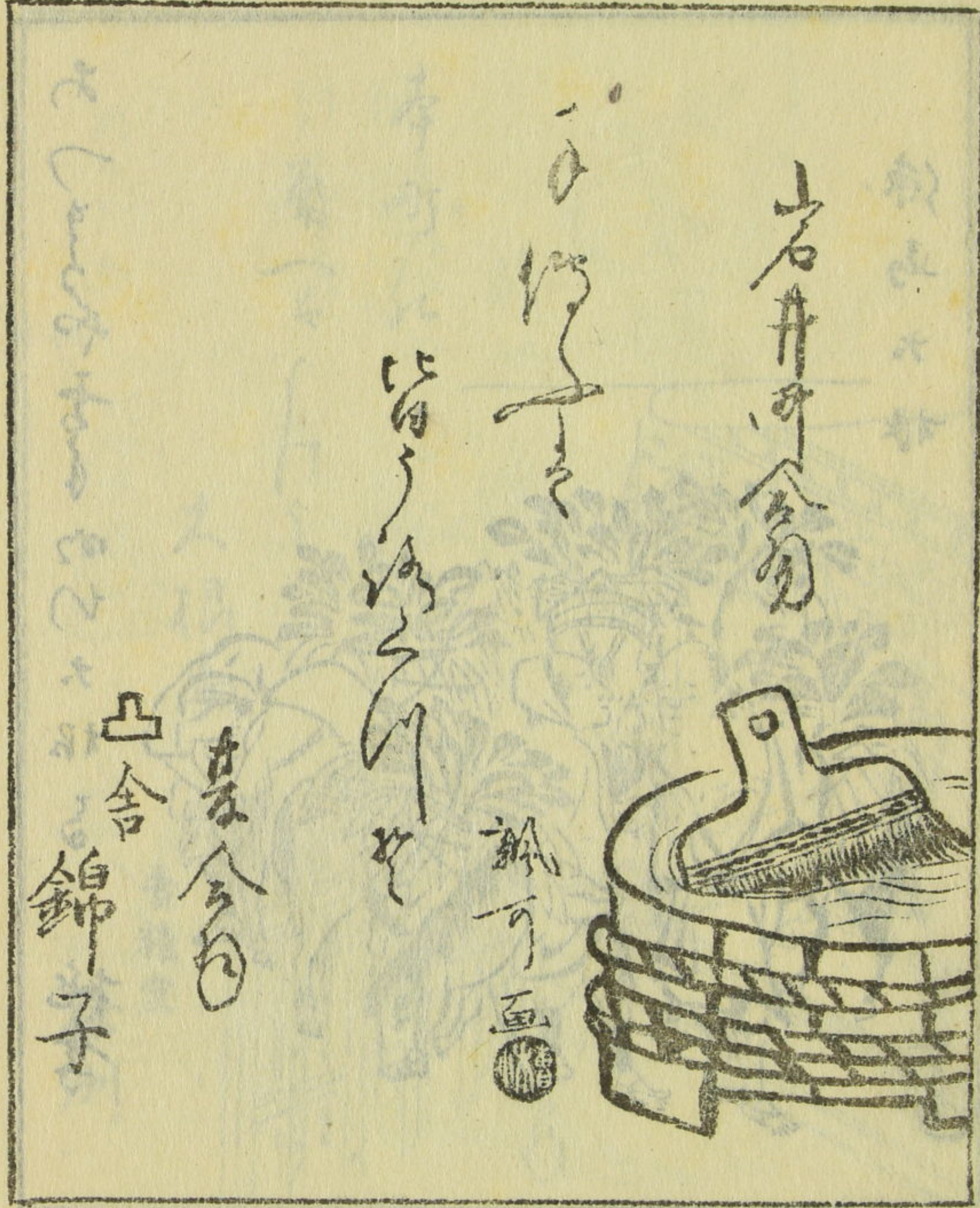


嶺向會泉長

團扇  
 几  
 木乃系  
 樣攝也

堀江町團扇

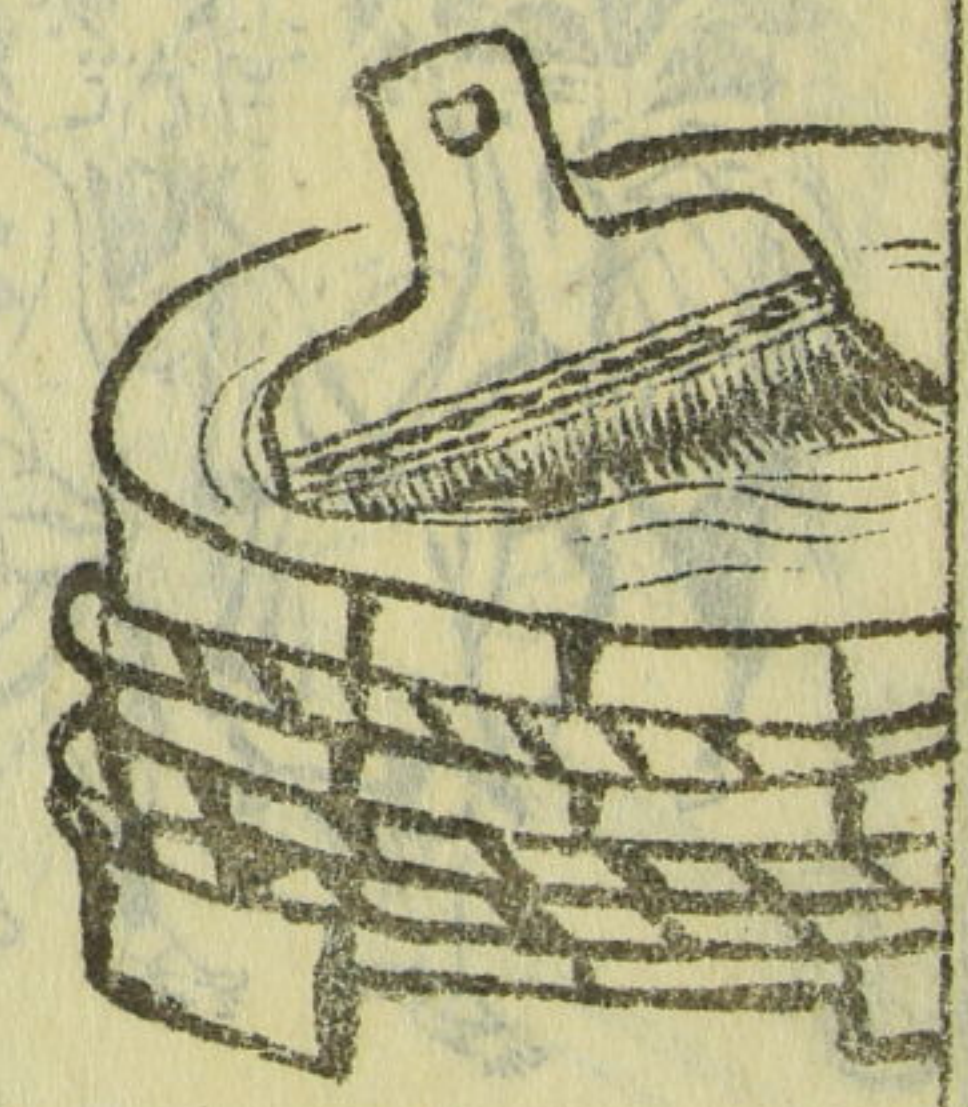
註三



石井河會扇

子

皆之



錦可画

會扇

凸

錦子





山田市

うたがは乃

市紙見寺あり

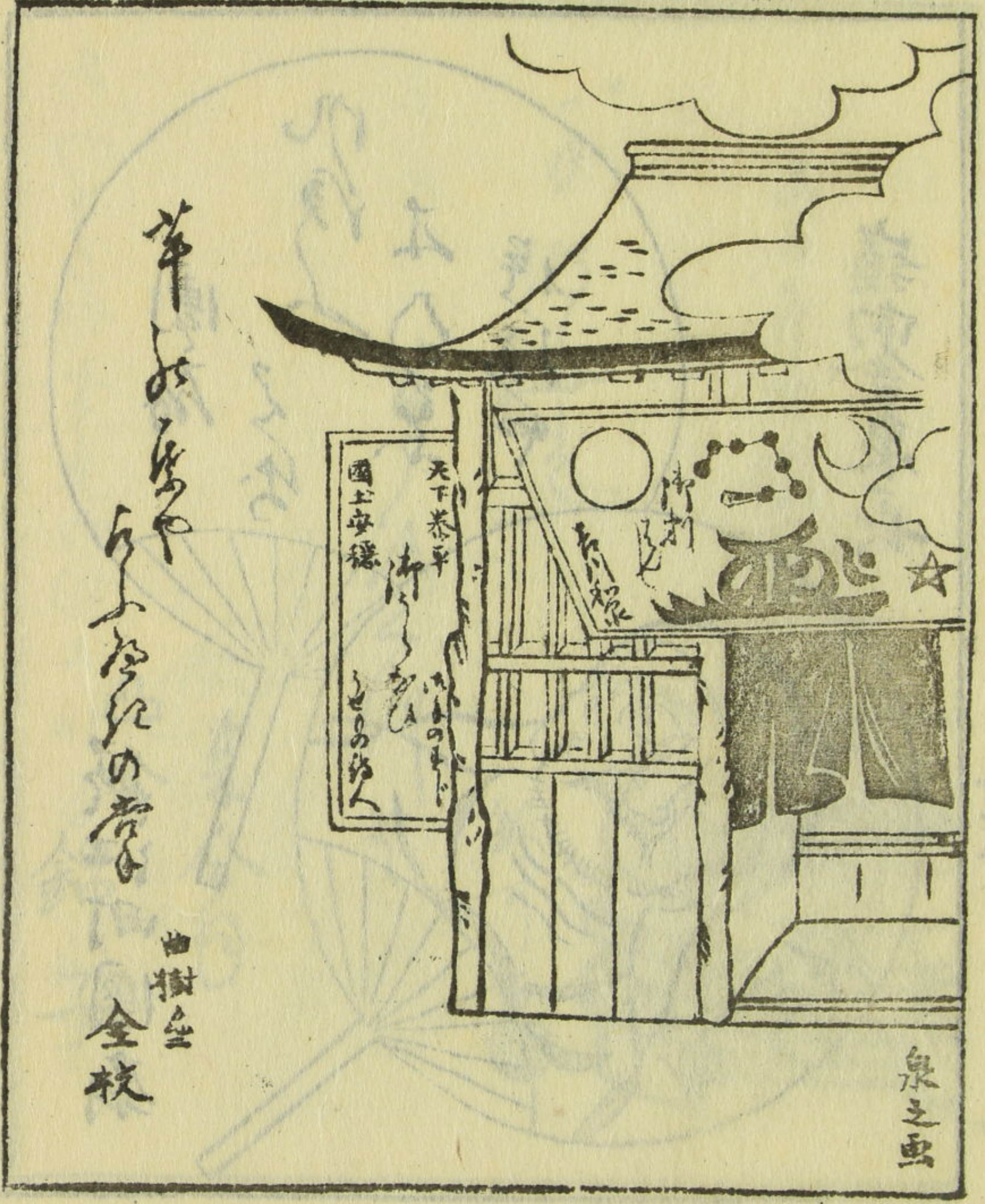
橋はあり

舟隻堂

詞可

自画

山田



羊小舎

うたがはの寺

曲樹

全枝

天下恭平  
國土安穩  
清く  
まことの人

泉之画

鎮抱下  
りよの

紅色

花まの 清

酒

香

梅野敬信筆



朱座

中善善美以のり入る或二州と愛一棟と控く  
獨のこ入楽とあるも又偏なりとやあり  
一花のり入るは未ふあ草と在るありと郭馳り  
も善美のりも善美のりも善美のりも善美のりも  
見は中一入楽のり入るは未ふあ草と在るありと郭馳り  
唱一入るは未ふあ草と在るありと郭馳り  
あはり入るは未ふあ草と在るありと郭馳り  
独り愛するは未ふあ草と在るありと郭馳り

深井、作去信

巻題

岩水

音鴻や善美のり入るは未ふあ草と在るありと郭馳り

蘇子

朱座



江戸一着墨油 幸富



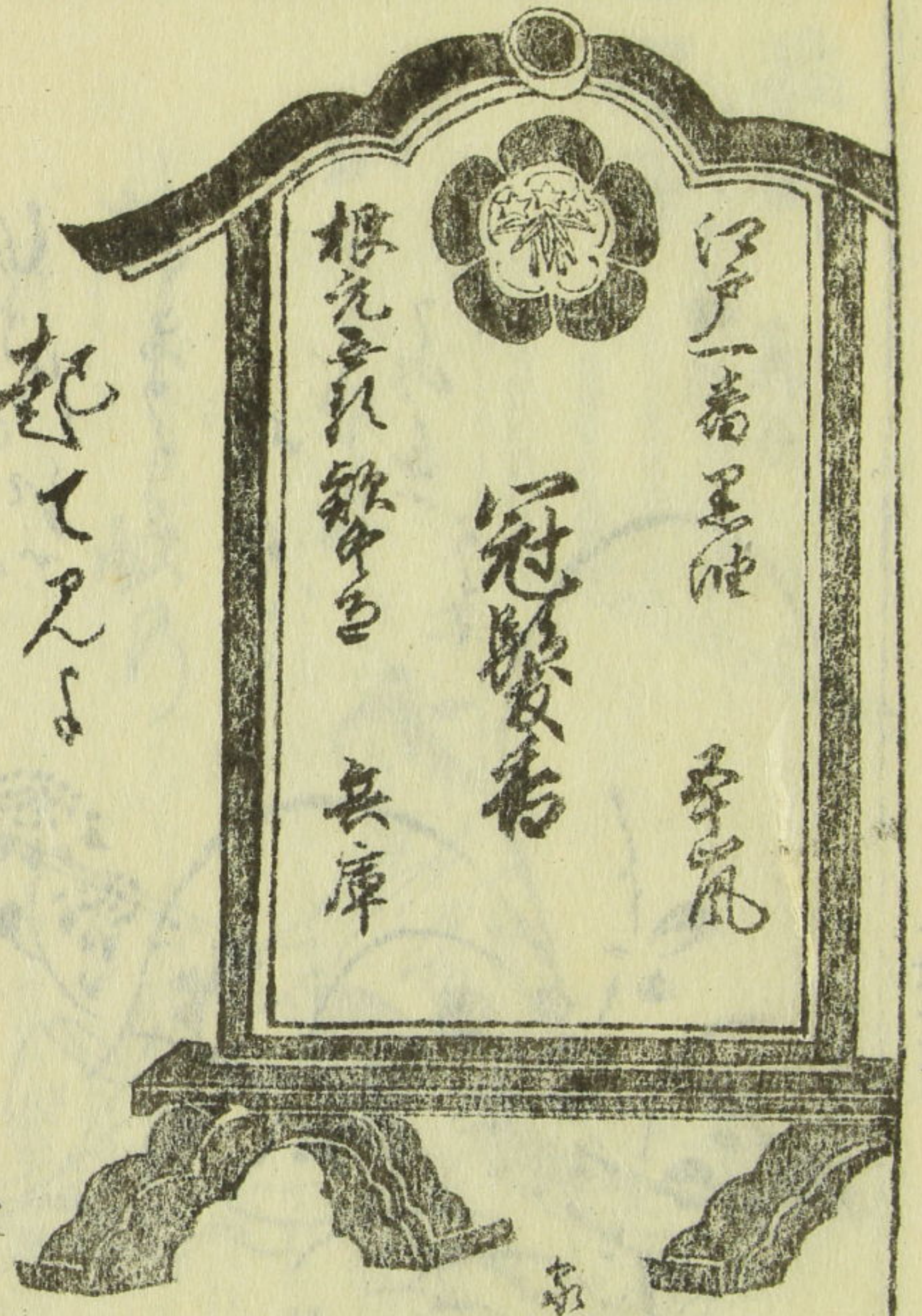
冠駮香

標元三氏歌中 兵庫

起て見よ

そけいしつぬ

世乃言



家之馬

六月堂 扇

茶に茶

雨

や

かしの表

あ

心

水芝河祇術



山嵐



阿蘭陀翁

福玉堂茶屋

お色や

花笠亭

壽尺

おのり

おのり

おのり

おのり



小畑町白魚

一火井

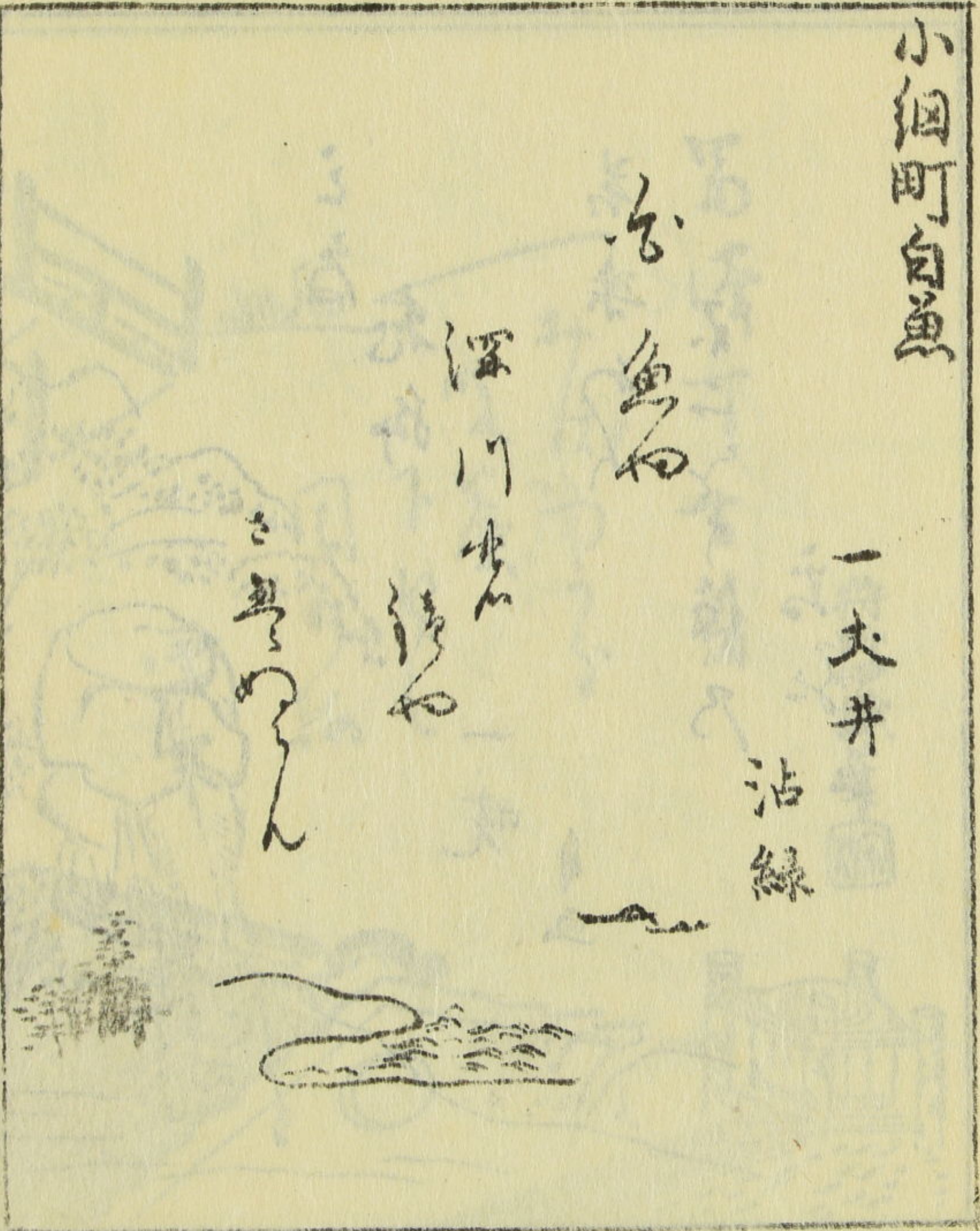
沾緑

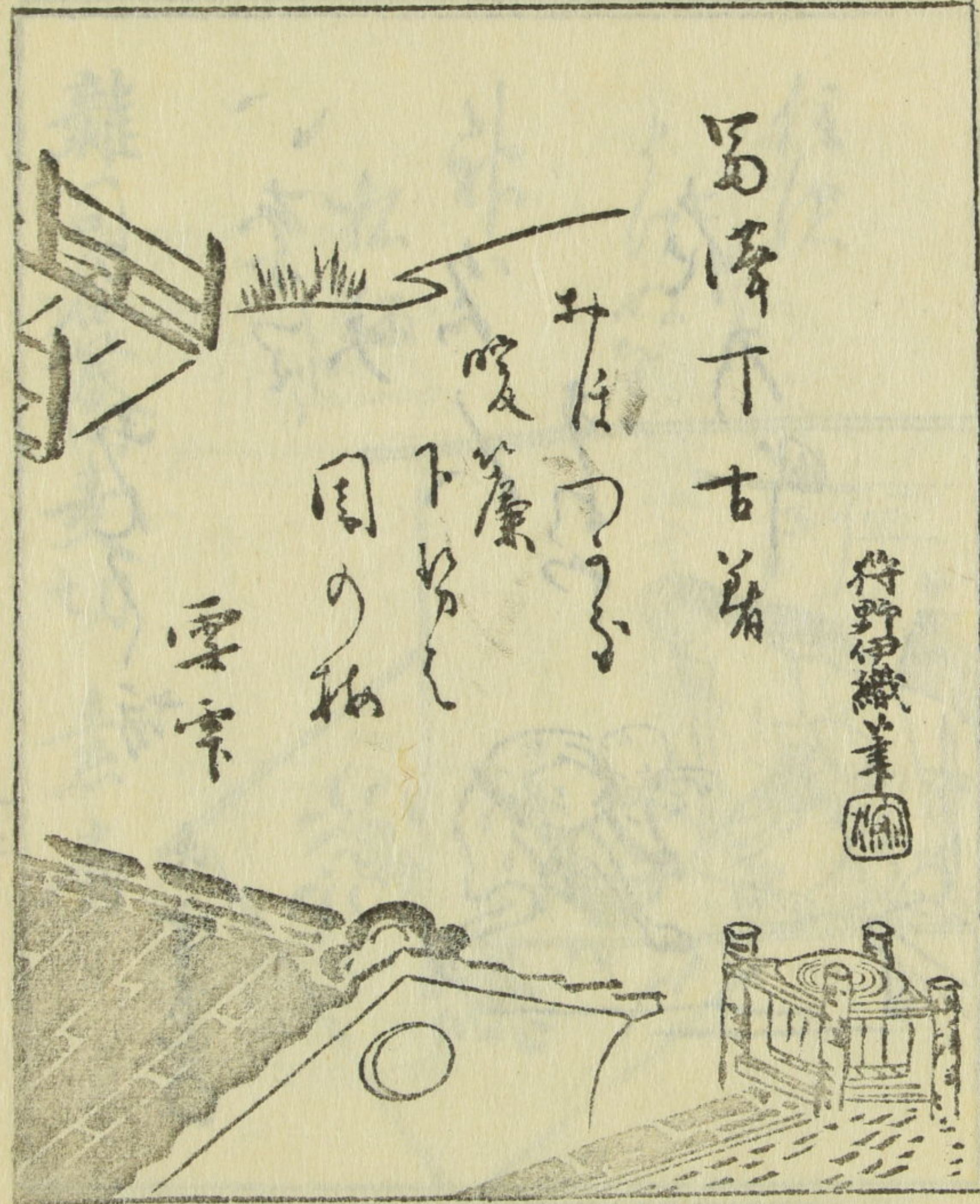
お魚や

深川

お魚

お魚





馬場下古道

おぼろ

暖簾

下り

園の松

雲

狩野伊織筆



とる

おぼろ

一曉

暮来あり

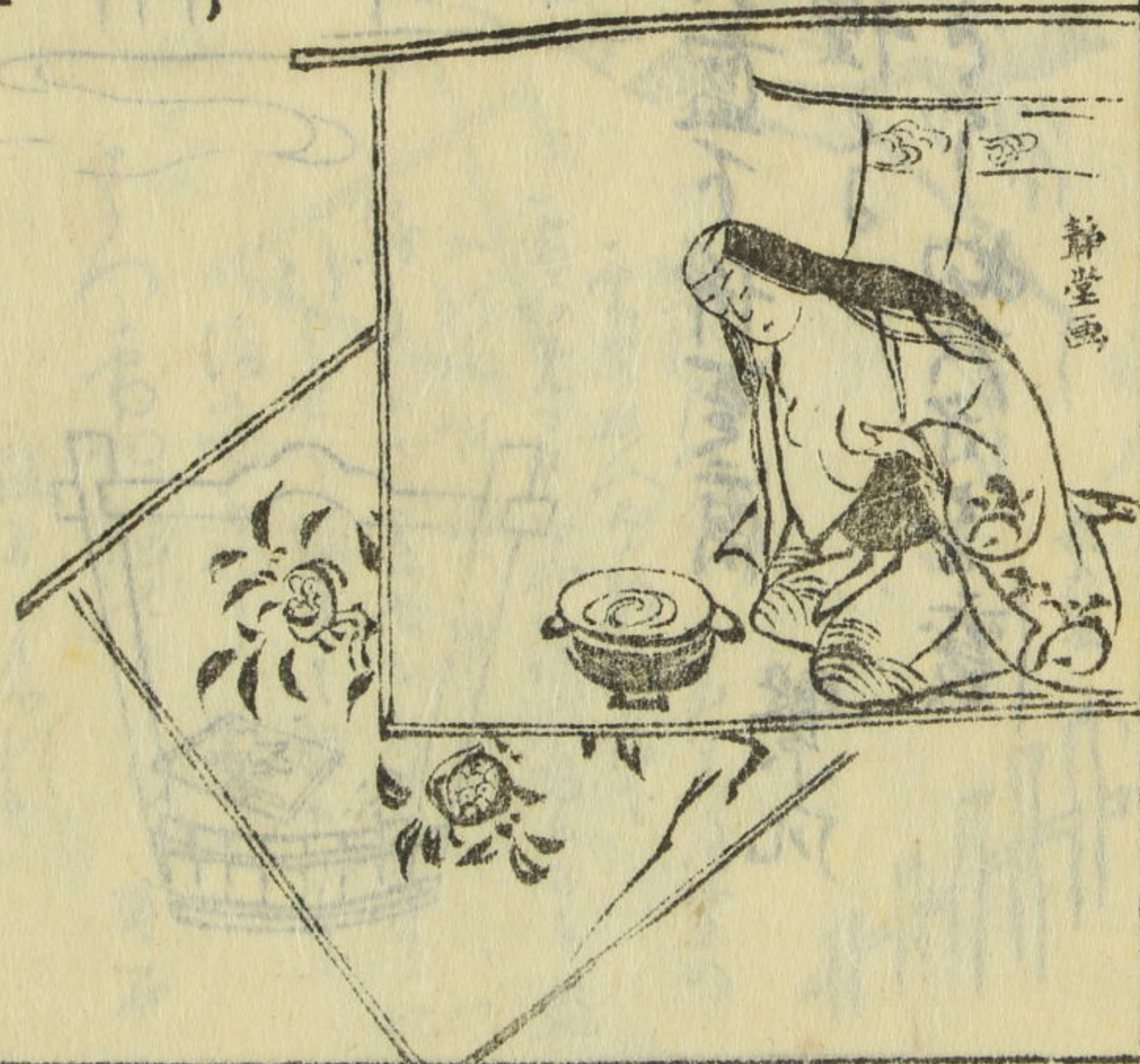
ふにやうは乃

おぼろ

心園巴也画

雜司谷蕎麥切素扇

信濃  
中村  
松極



靜堂画

素子

大

名人

多

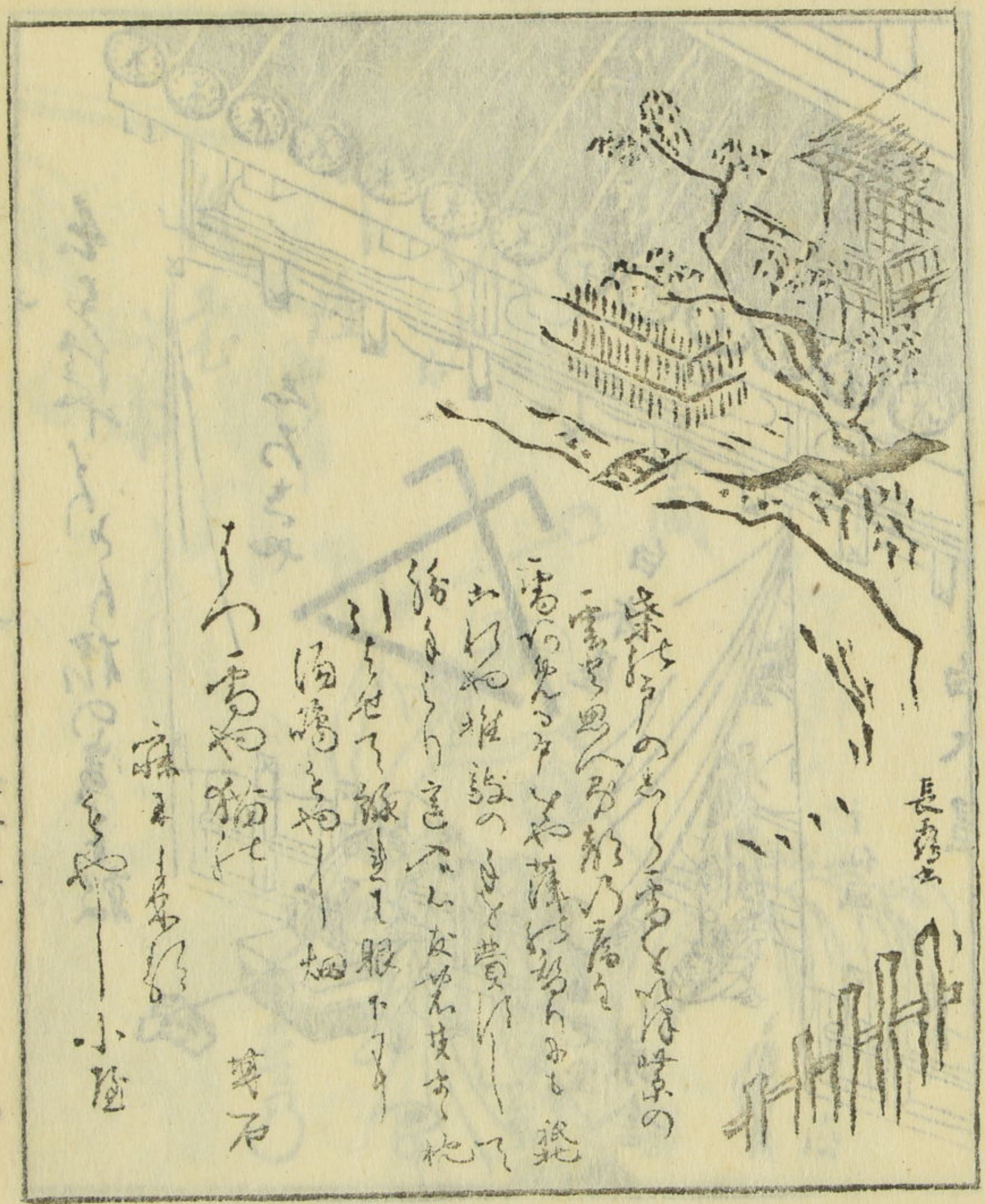
衣入

素子

素子







長崎

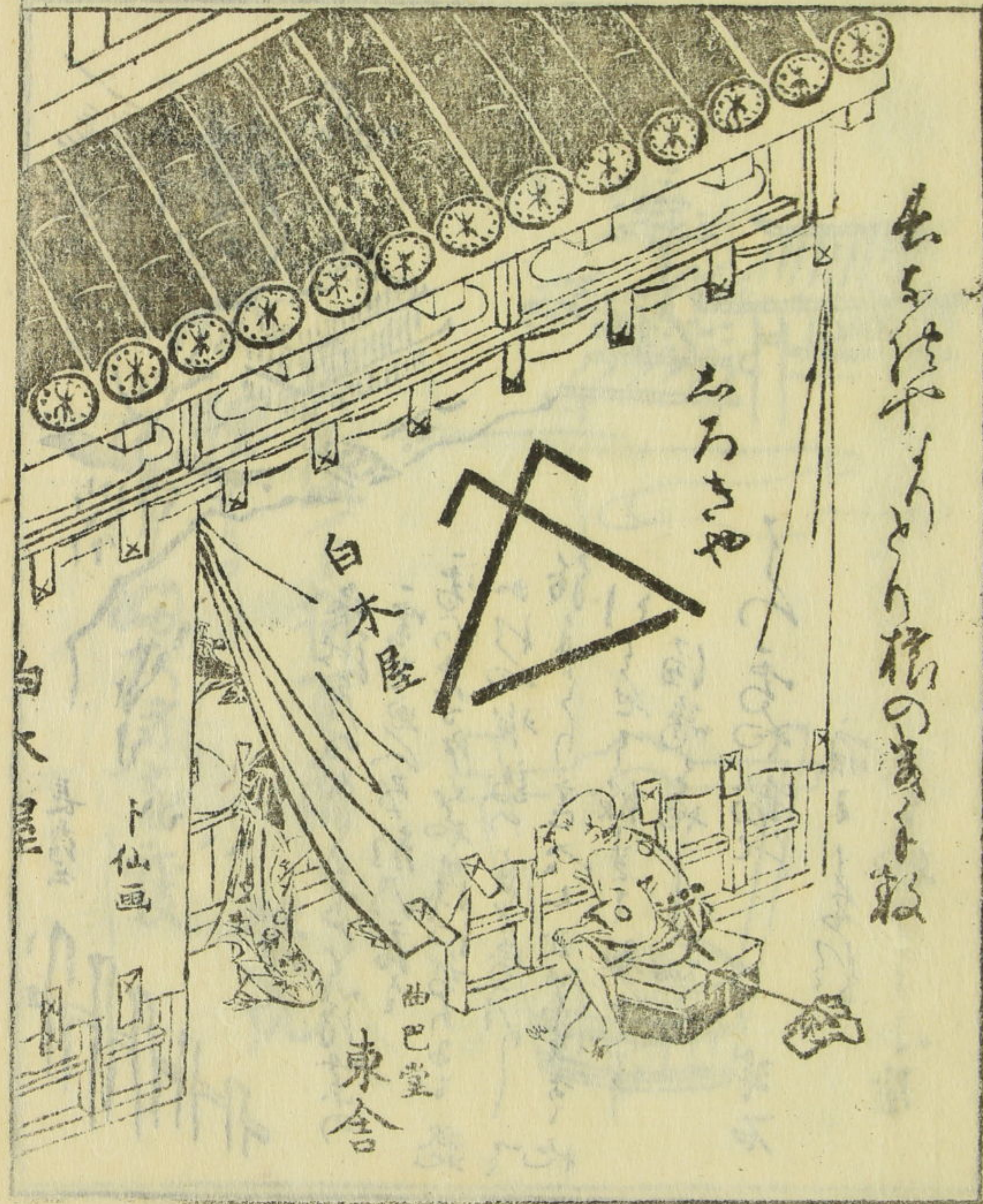
桑林のあゝとては葉の  
 雲を思ふも影の居る  
 清の光のやも薄はちりも  
 かくれぬ影のよと昔の  
 跡もとりてさへも女も  
 引とせし飯まし眼下  
 海鳴るや一畑  
 くのちわ猫は  
 身石

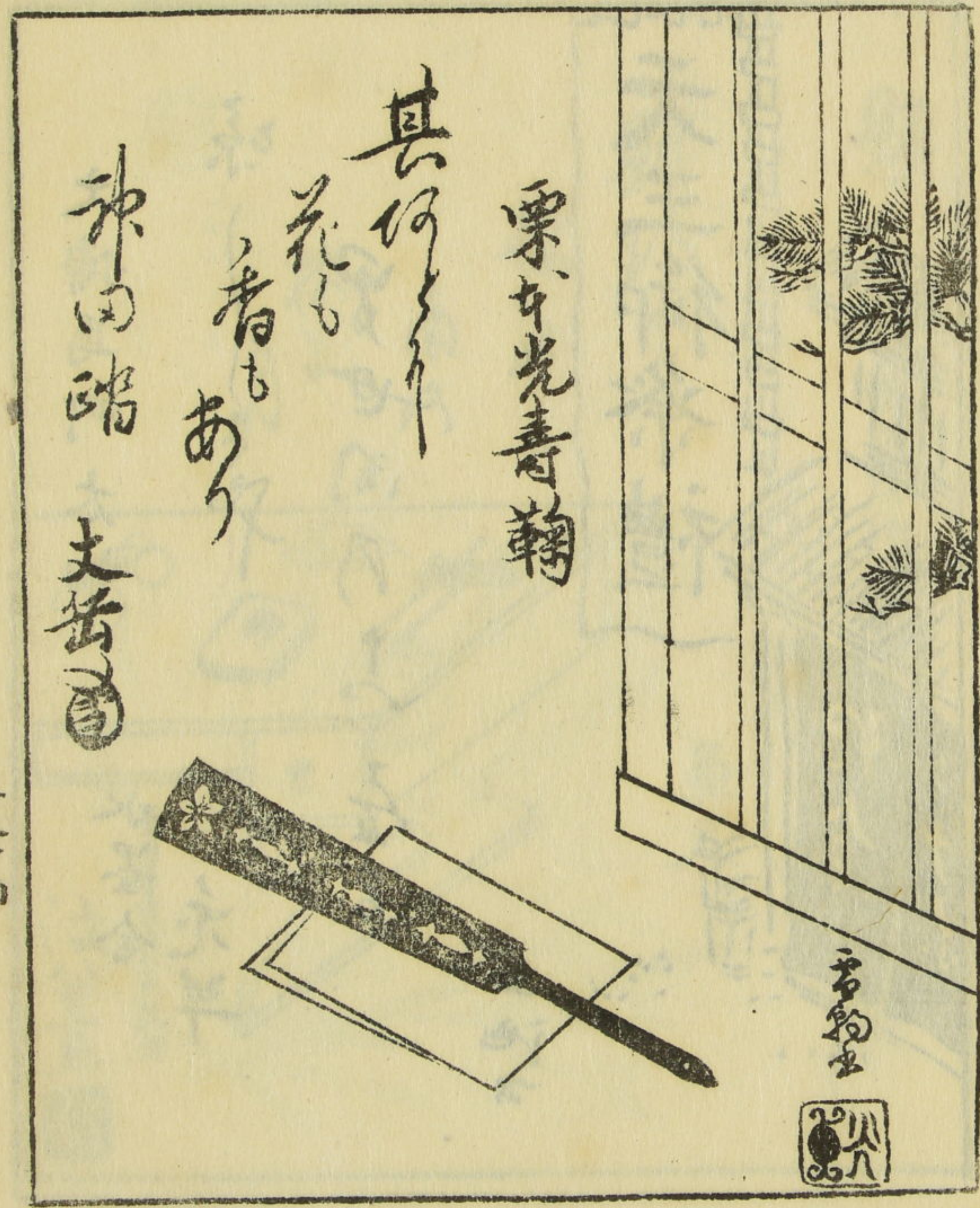
麻子  
 小登



柳の赤種くも  
 奥蓋下柳豆腐  
 ぬ乃字を愛  
 繫糸瓜

長崎





大傳馬所太物

涼

男世間乃其

水墨舎

兎羊

一池



題 檜南居活洲

賦 均

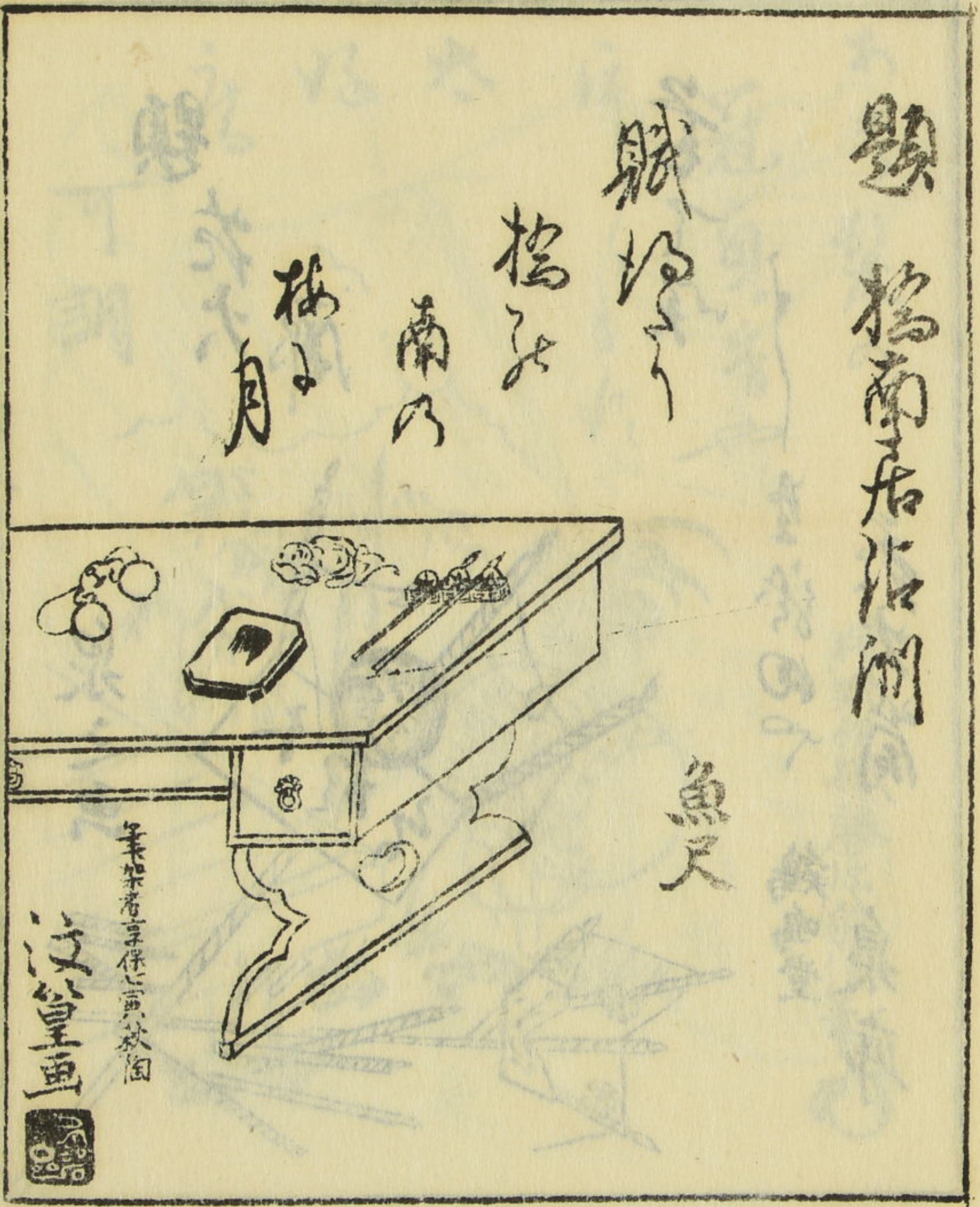
檜

南

居

活

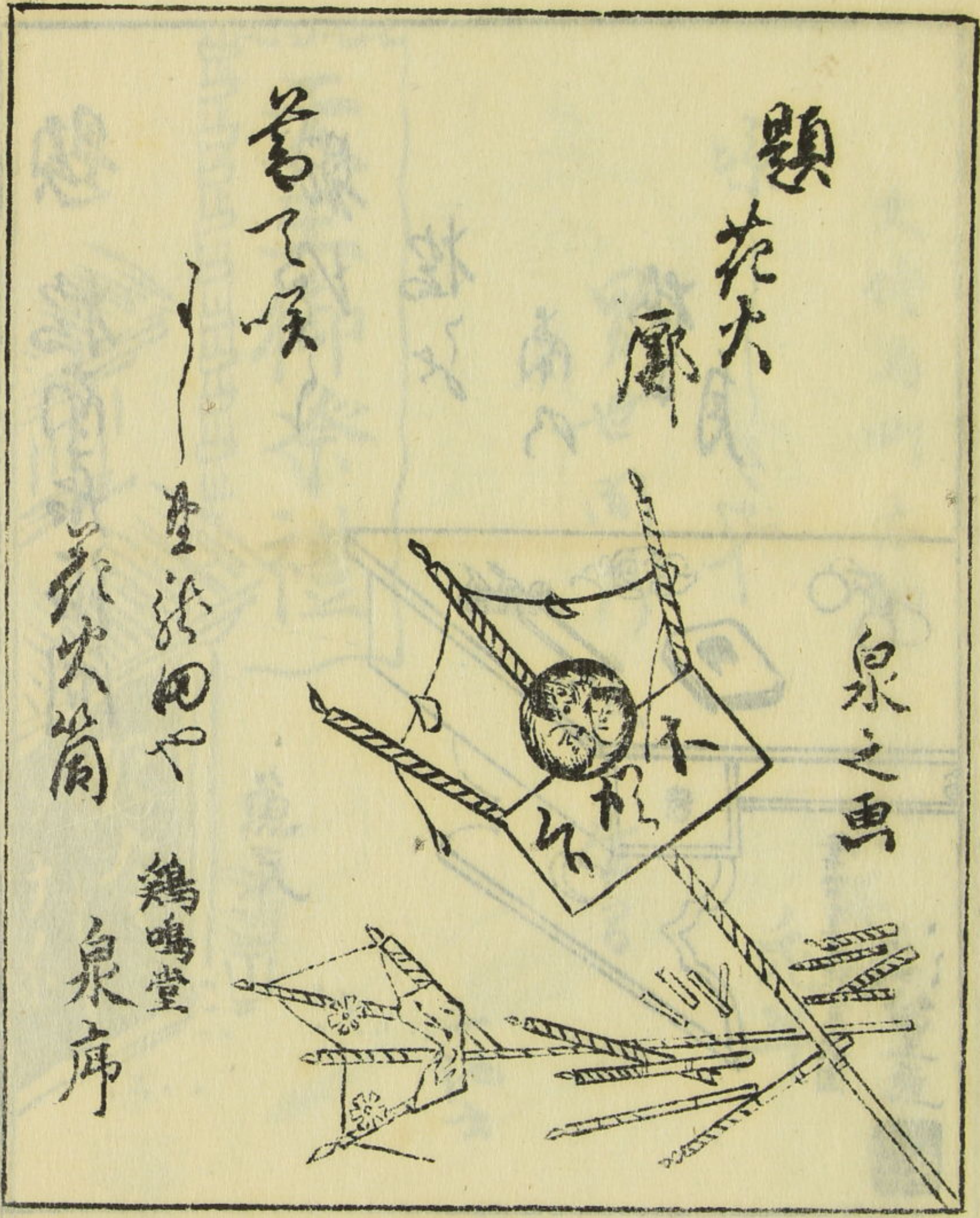
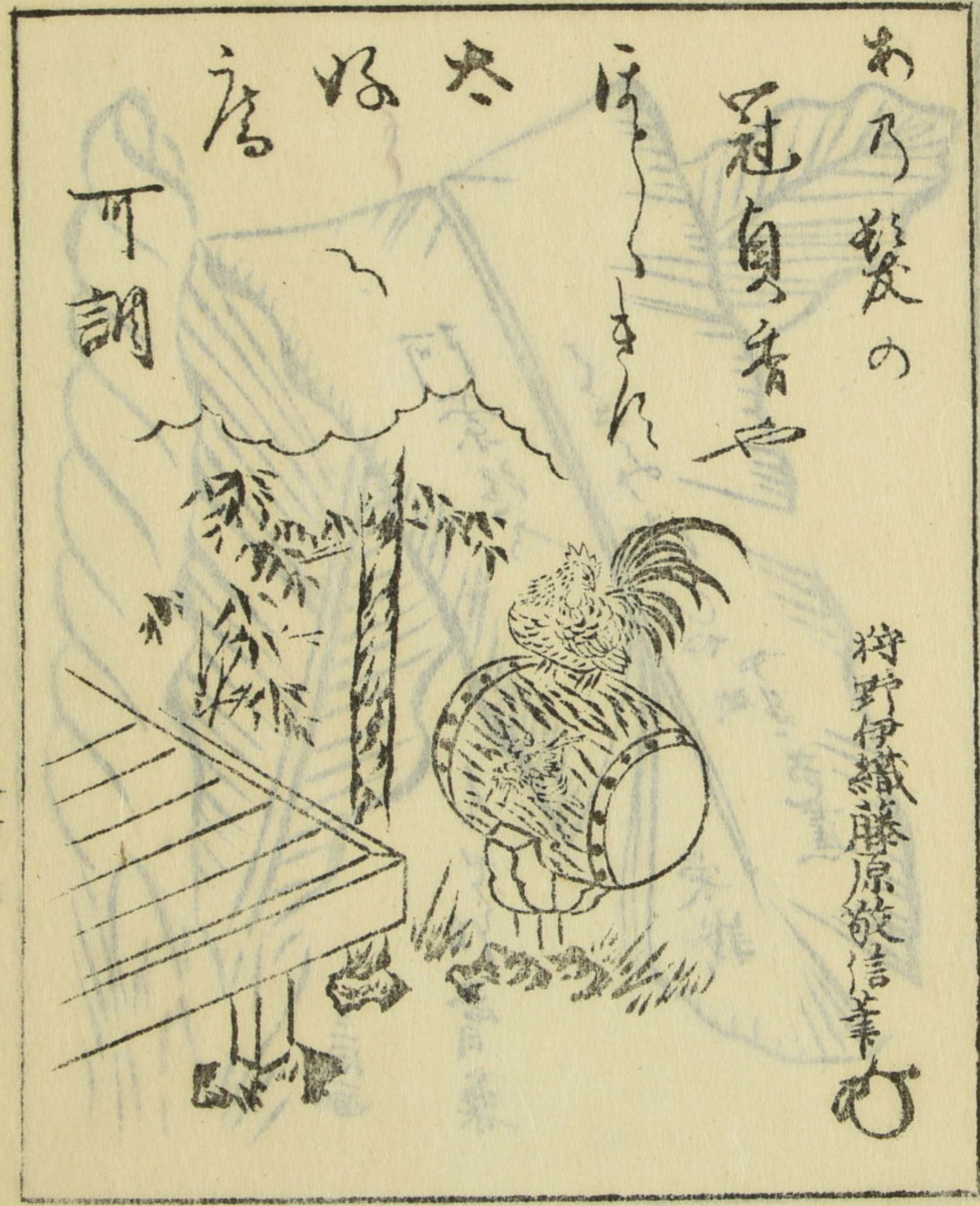
魚天



美知者言保七画秋園

文筆







本草綱目

金

